

# 株式会社メニコン

## 2019年3月期 決算説明資料

証券コード : 7780



# 決算のポイント

## ➤ 2019年3月期 連結業績

売上高 : 前期比 5.5% 伸長 (増収)

メルス会員数 127万人 ⇒ 130万人 に増加

営業利益 : 売上総利益の増加

販管費の効率的な使用 (増益)

## ➤ 2020年3月期 連結業績予想

1 DAY 中心に売上の伸長を計画 (増収)

効率的な使用による販管費率低下を計画 (増益)

## ➤ 今後の成長に向けて

1 DAY 中心に製品開発、生産拡大への投資を計画

国内・海外の販売機能強化を継続

---

# 目次

---

I .2019年3月期 連結業績概要

II .2020年3月期 連結業績予想

III .Vision2020に向けて

# I .2019年3月期 連結業績概要



# 連結業績サマリー

	2018/3期	2019/3期	
			前期比
売上高	76,672	80,898	+5.5%
売上原価	35,478	38,129	+7.5%
(原価率)	46.3%	47.1%	(+0.8pt)
売上総利益	41,194	42,768	+3.8%
販売費及び一般管理費	36,800	37,196	+1.1%
(売上高販管费率)	48.0%	46.0%	(△2.0pt)
営業利益	4,394	5,571	+26.8%
(売上高営業利益率)	5.7%	6.9%	(+1.2pt)
経常利益	4,458	5,645	+26.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,657	3,576	+34.6%
1株当たり当期純利益	75.67円	101.63円	---

百万円

## 連結売上高

808億円

前期比 +42億円  
(+5.5%)①メルスプラン売上  
+23億円②コンタクトレンズ・  
ケア商品売上  
+16億円その他  
+3億円

## 主な理由

- ①メルスプラン会員数の増加 (前期比+3%)  
1 DAY会員の増加
- ②1 DAYの拡販及び海外売上の伸長

# 連結営業利益

55億円

前期比 +11億円  
(+26.8%)

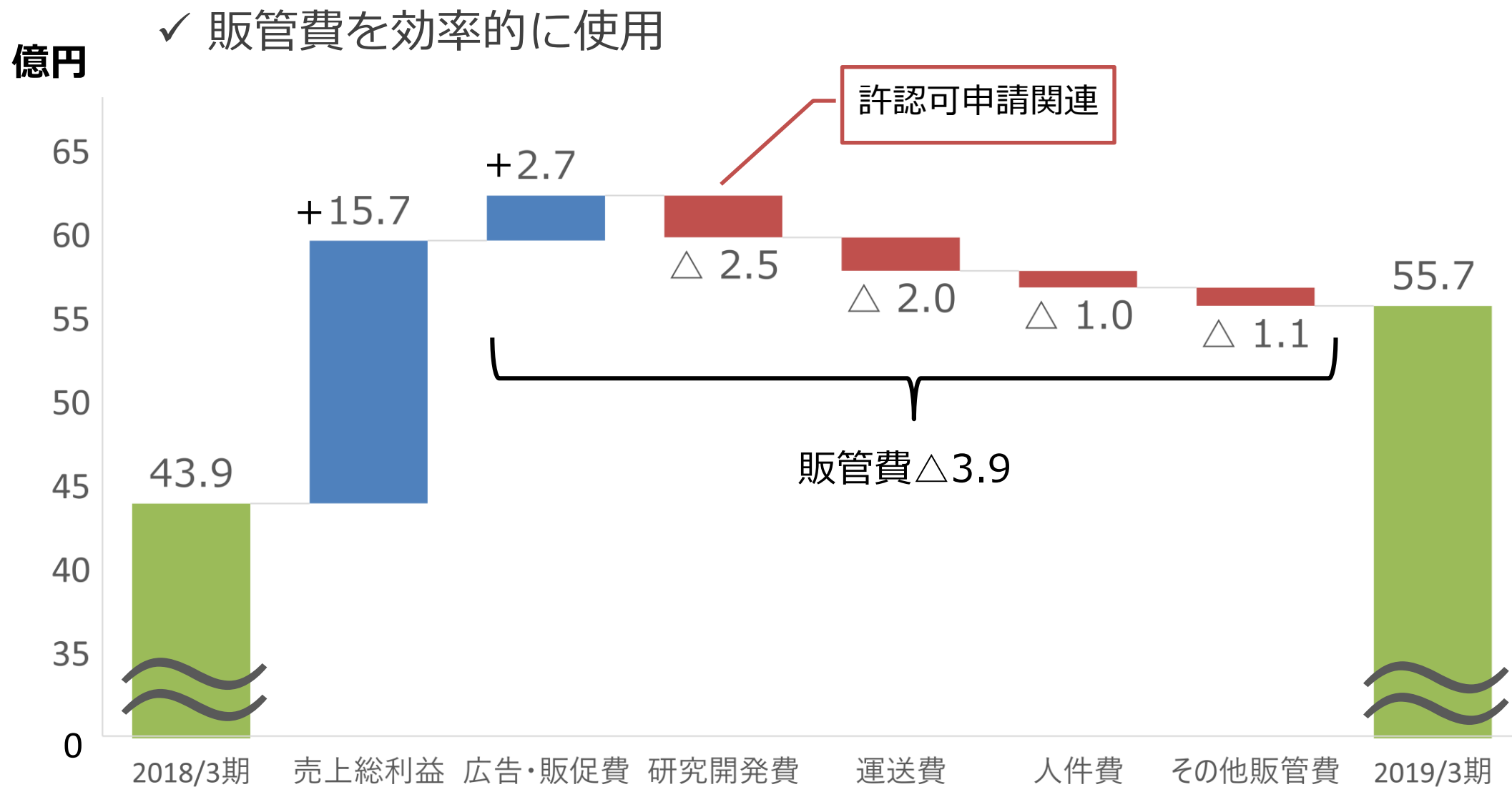
売上総利益  
+15億円

販管費  
△4億円

## 主な理由

売上高増加に伴う売上総利益の増加  
販管費の効率的な使用

# 連結営業利益





# 売上高の内訳①

## 報告セグメント別等

百万円

		2018/3期	2019/3期	
				前期比
連 結 売 上 高		76,672	80,898	+5.5%
報 告 セグメント別	コンタクトレンズ 関 連 事 業	75,257	79,416	+5.5%
	そ の 他	1,414	1,482	+4.8%
製 品 及 び サ ー ビ ス 別	コンタクトレンズ ・ ケ ア 商 品	36,518	38,172	+4.5%
	メ ル ス プ ラ ン	38,304	40,615	+6.0%
	そ の 他	1,849	2,110	+14.1%

※「その他」に新規事業を含んでいます。

## 製品及びサービス別    コンタクトレンズ・ケア商品

381億円

前期比 +16億円  
(+4.5%)①1DAY  
+10億円 (+31%)②その他  
+6億円

## 理由

- ① 1 DAY販売が国内・海外ともに堅調
- ② 欧米での1 MONTHレンズ、中国でのオルソケラトロジーレンズの売上が伸長

406億円

前期比 +23億円  
(+6.0%)

① 1 DAY

+20億円 (+17%)

② 2 WEEK

+5億円 (+5%)

その他

△2億円

理由

- ① 1 DAYが堅調
- ② 2 WEEKメニコンプレミオシリーズが堅調

## 売上高の内訳②

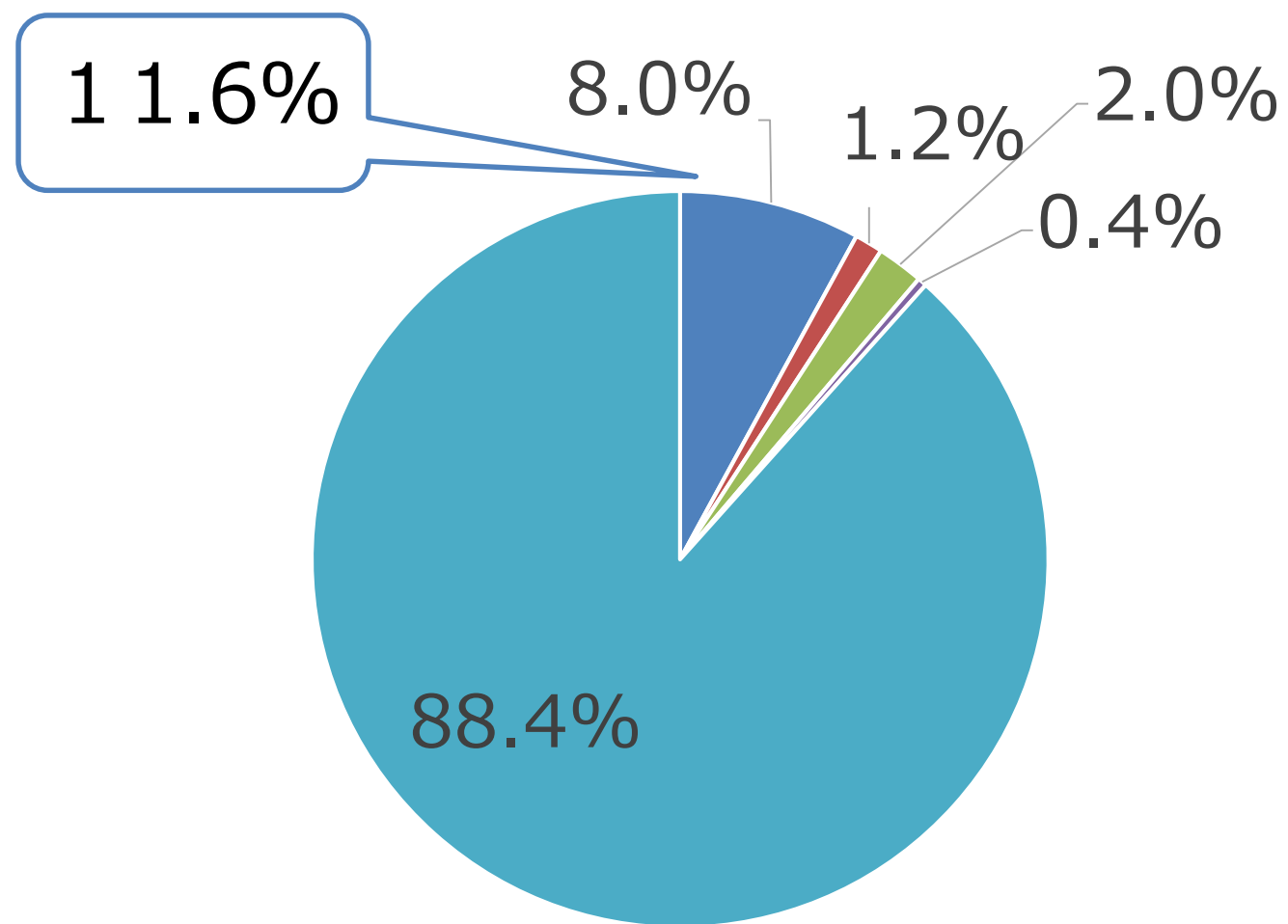
### 地域別

百万円

	2018/3期	2019/3期	
			前期比
連 結 売 上 高	76,672	80,898	+5.5%
国 内 売 上 高	68,172	71,498	+4.9%
海 外 売 上 高	8,500	9,399	+10.6%
欧 州	6,017	6,431	+6.9%
北 米	902	997	+10.6%
ア ジ ア	1,255	1,649	+31.4%
そ の 他	324	320	△1.2%

※「その他」にオセアニア等を含んでいます。

## 海外売上高比率



■ 欧州 ■ 北米 ■ アジア ■ その他 ■ 国内売上高

## 海外売上高

93億円

前期比 +8.9億円  
(+10.6%)

①欧州

+4.1億円 (+6.9%)

②北米

+0.9億円 (+10.6%)

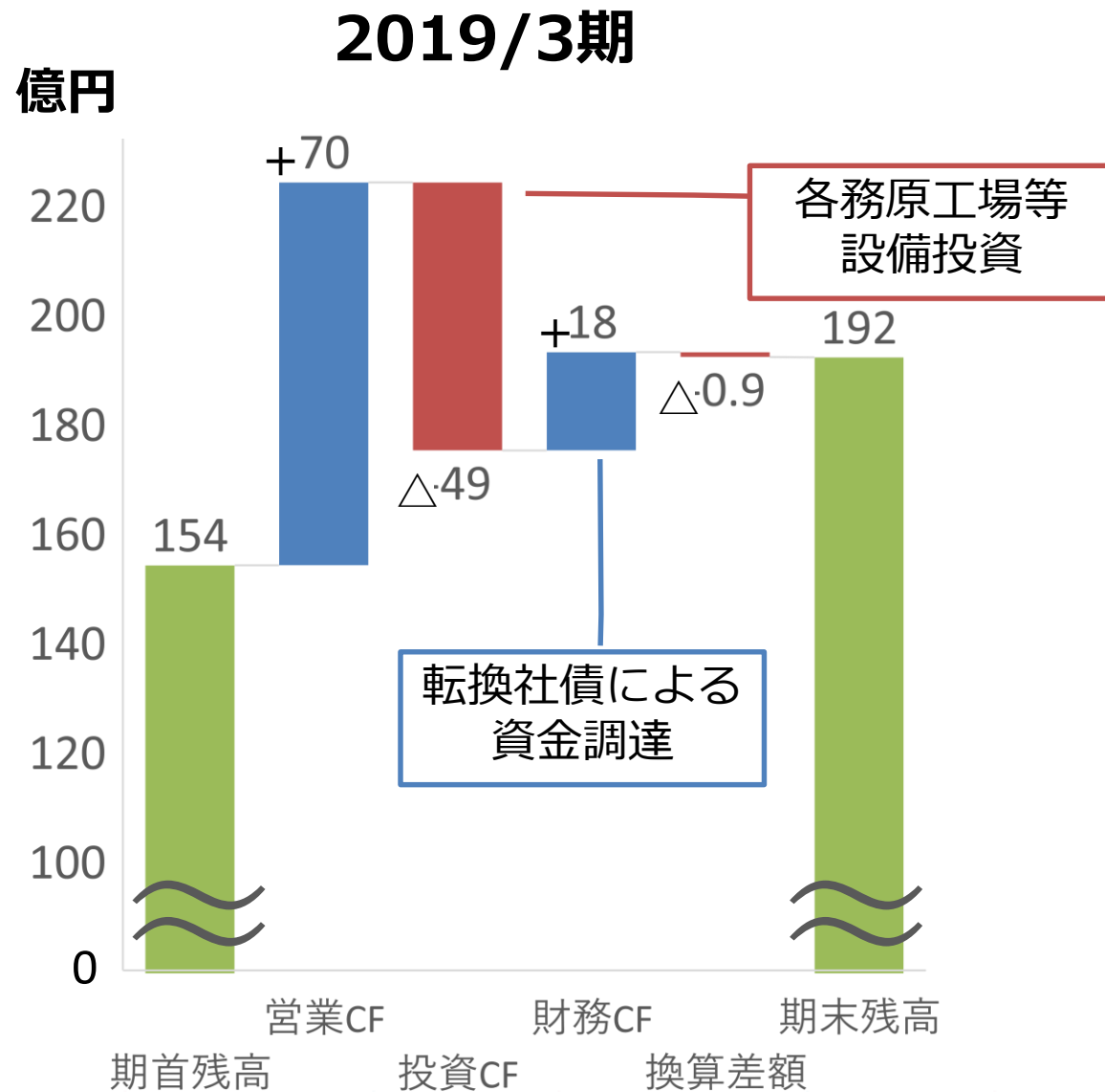
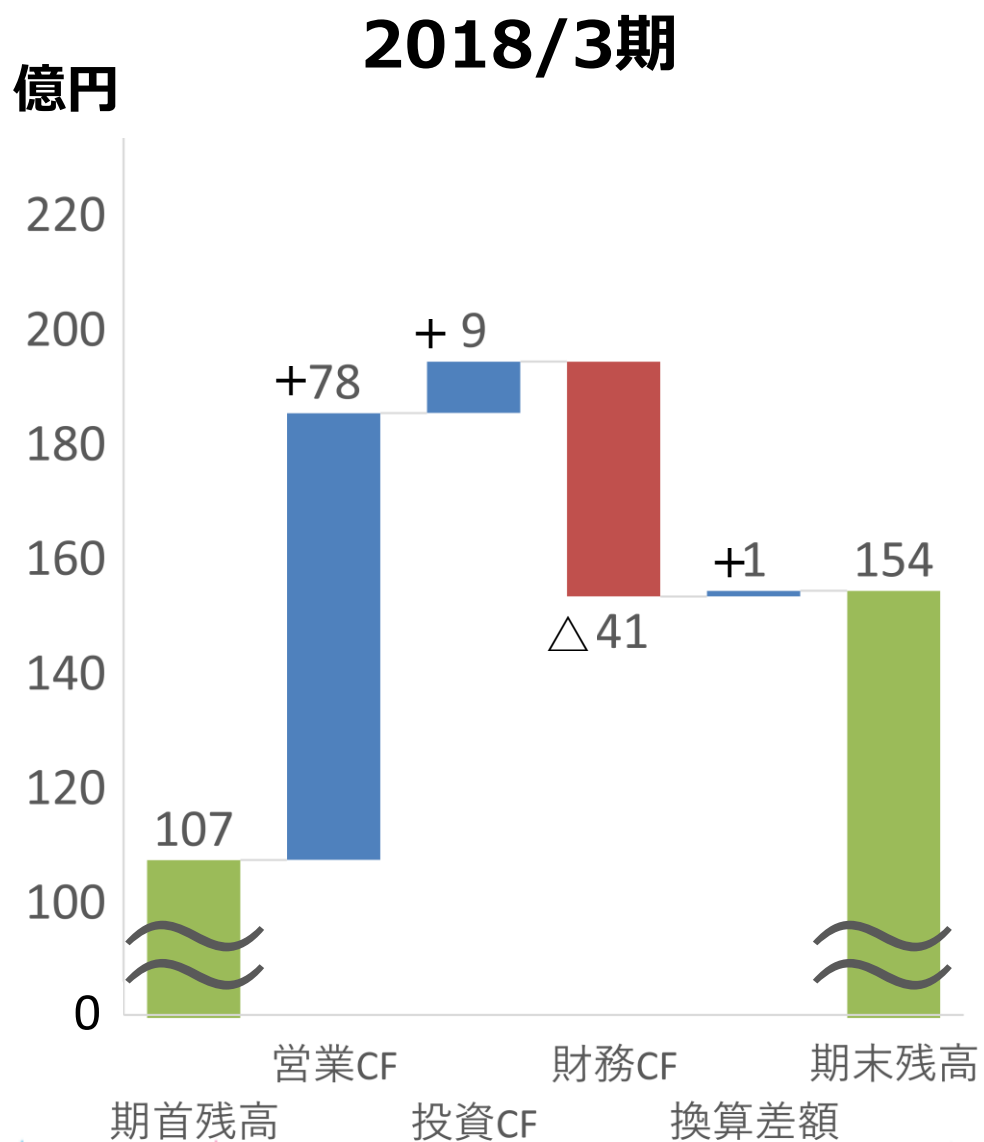
③アジア

+3.9億円 (+31.4%)

理由

- ①②ディスプレイザブルコンタクトレンズ売上増加
- ③オルソケラトロジーレンズ及びケア用品が堅調

# 連結キャッシュフロー比較



## Ⅱ.2020年3月期 連結業績予想





## 連結業績予想のポイント

➤ 2020年3月期 連結業績予想

売上高:前期比5%伸長を計画 (増収)

メルス会員数130万人⇒133万人に増加を計画

営業利益:売上総利益の増加、

効率的な使用による販管費率低下を計画 (増益)

➤ 今後の成長に向けて

1DAY中心に製品ラインアップ拡充へ向けた研究開発強化、  
生産能力拡大に向けた投資を計画

国内の販売店ブランドを統一、販売機能強化

海外各地域での販売機能強化

# 連結業績予想

	2019/3期 実績		2020/3期 予想	前年差異	前期比
売上高	<b>80,898</b>	⇒	<b>85,083</b>	+4,185	+5.2%
売上原価	38,129		39,883	+1,754	+4.6%
(原価率)	47.1%		46.9%	(△0.2pt)	---
売上総利益	42,768		45,199	+2,430	+5.7%
販売費及び一般管理費	37,196		38,696	+1,500	+4.0%
(売上高販管費率)	46.0%		45.5%	(△0.5pt)	---
営業利益	<b>5,571</b>		<b>6,502</b>	+930	+16.7%
(売上高営業利益率)	6.9%		7.6%	(+0.7pt)	---
経常利益	<b>5,645</b>		<b>6,488</b>	+843	+14.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>3,576</b>		<b>4,091</b>	+514	+14.4%
1株当たり 当期純利益	101.63円		116.12円	+14.49	---

百万円



## 連結売上高予想

850億円

前期比  
+41億円 (+5.2%)①メルスプラン売上  
+22億円②コンタクトレンズ・  
ケア商品売上  
+15億円その他  
+4億円

## 主な理由

①② 1 DAY中心にディスポーザブルレンズの売上が堅調に  
推移すると予想

## 連結営業利益予想

65億円

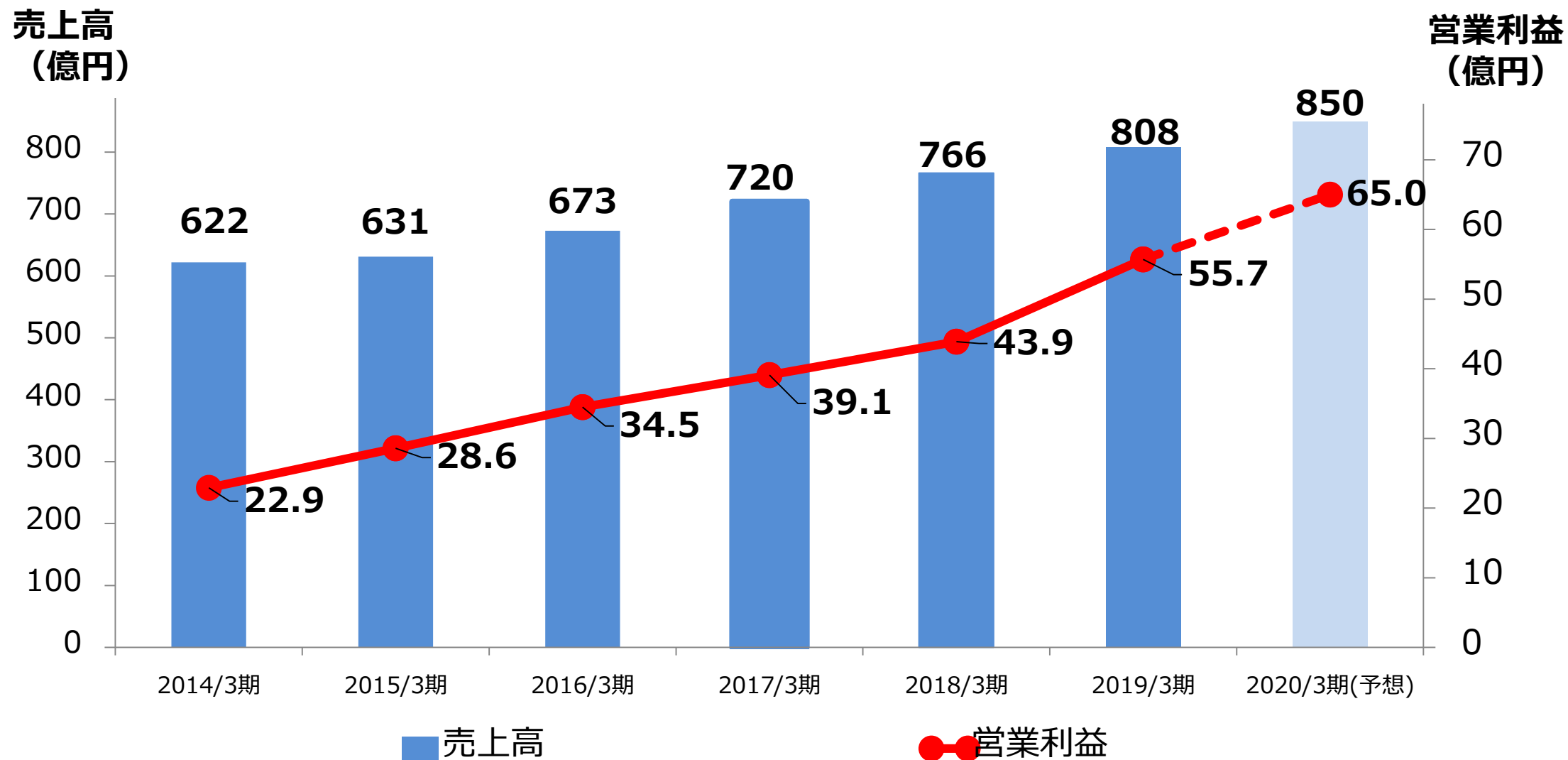
前期比  
+9億円 (+16.7%)

売上総利益  
+24億円

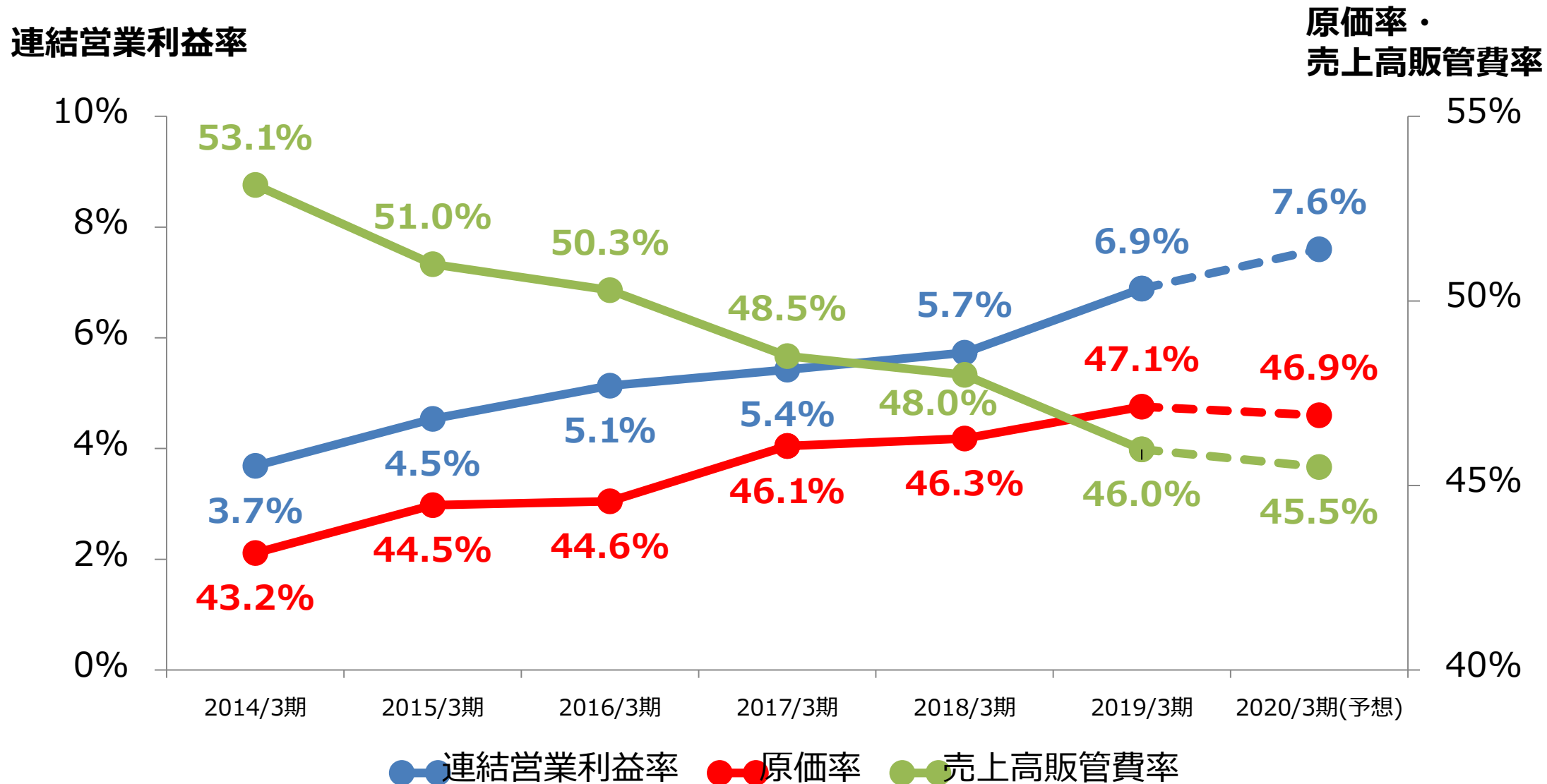
販管費  
△15億円

主な理由  
売上総利益の増加を予想  
効率的な販管費の使用を計画  
(売上高+5.2%の伸長に対し、販管費+4.0%の伸長)

# 連結売上高・連結営業利益推移

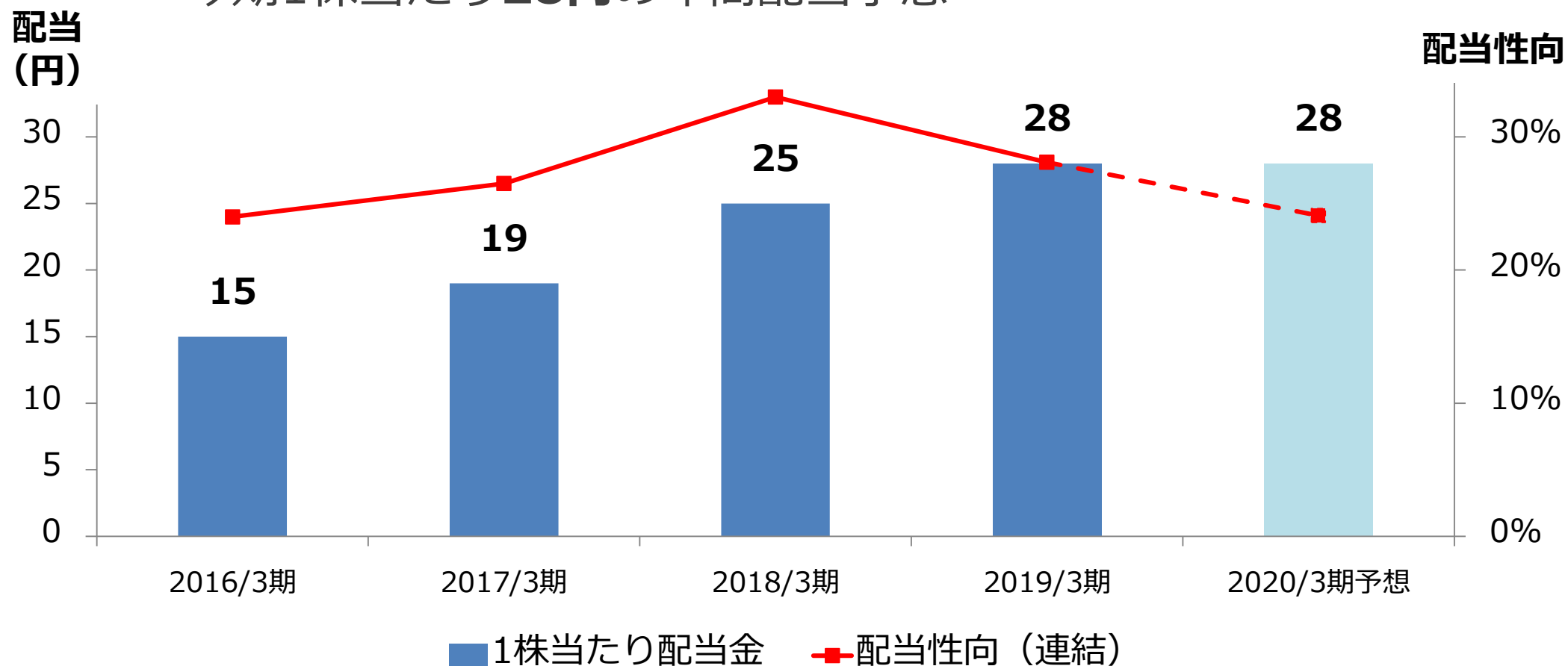


# 原価率・売上高販管費率・連結営業利益率推移



# 配当政策

✓ 今期1株当たり**28円**の年間配当予想



※配当金は2016年3月期の期初に株式分割されたと仮定して計算しております。

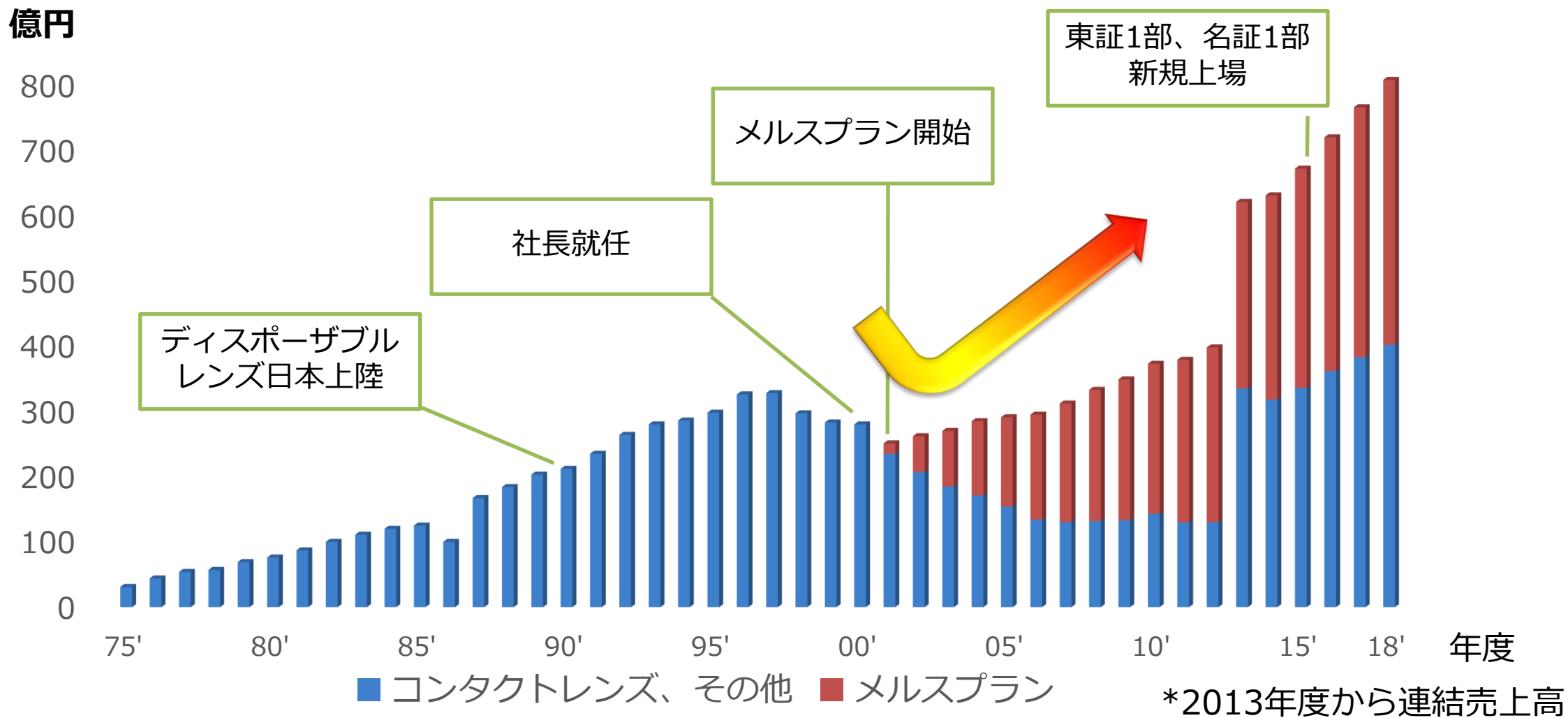
# Ⅲ.Vision2020に向けて





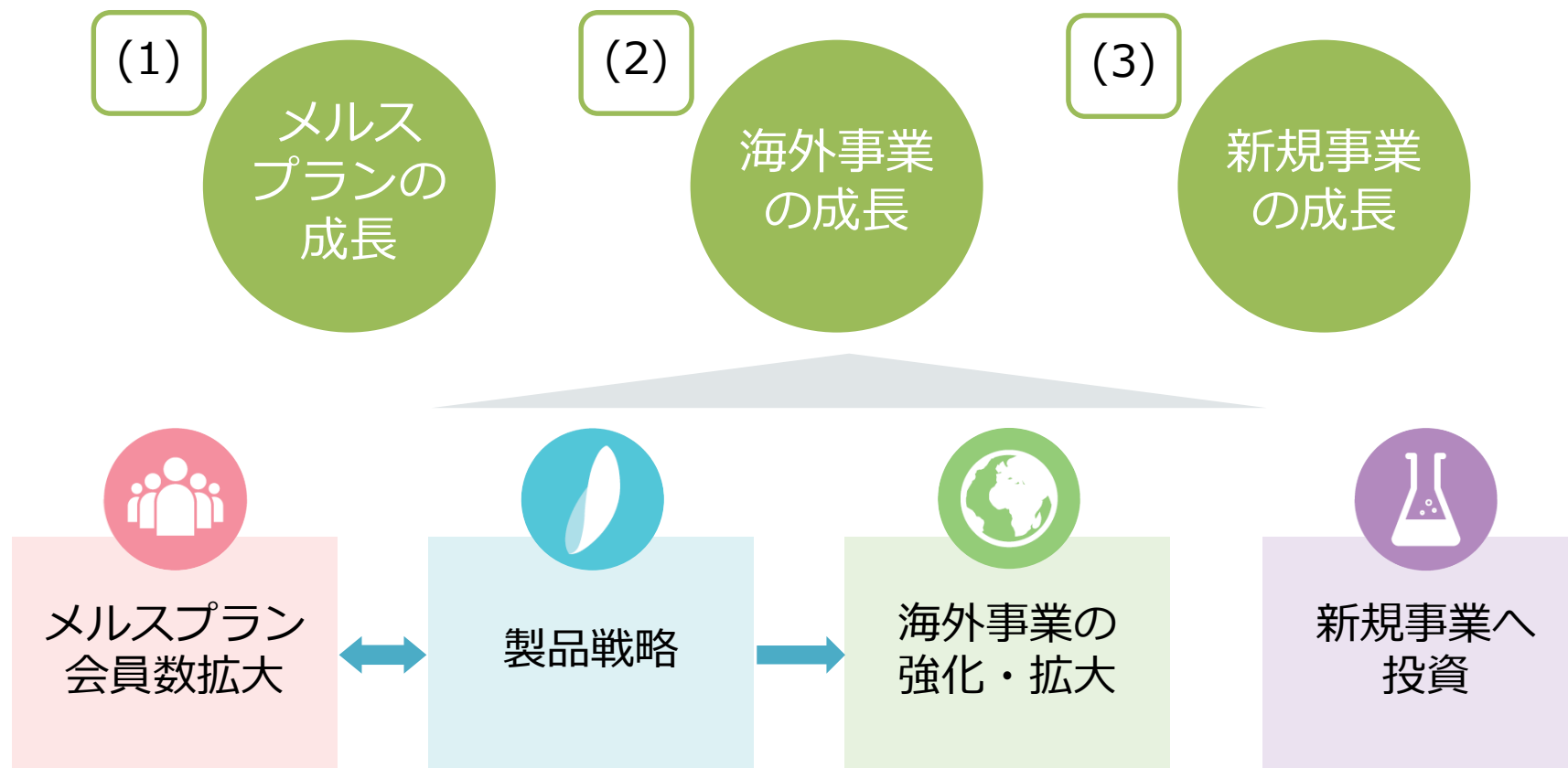
# 売上高の推移

✓ メルスプラン開始以来、17年連続の売上伸長



# 中期計画 Vision2020

## 売上高1,000億円、営業利益率10%の実現へ



Vision2020 : 2021年3月期の達成目標

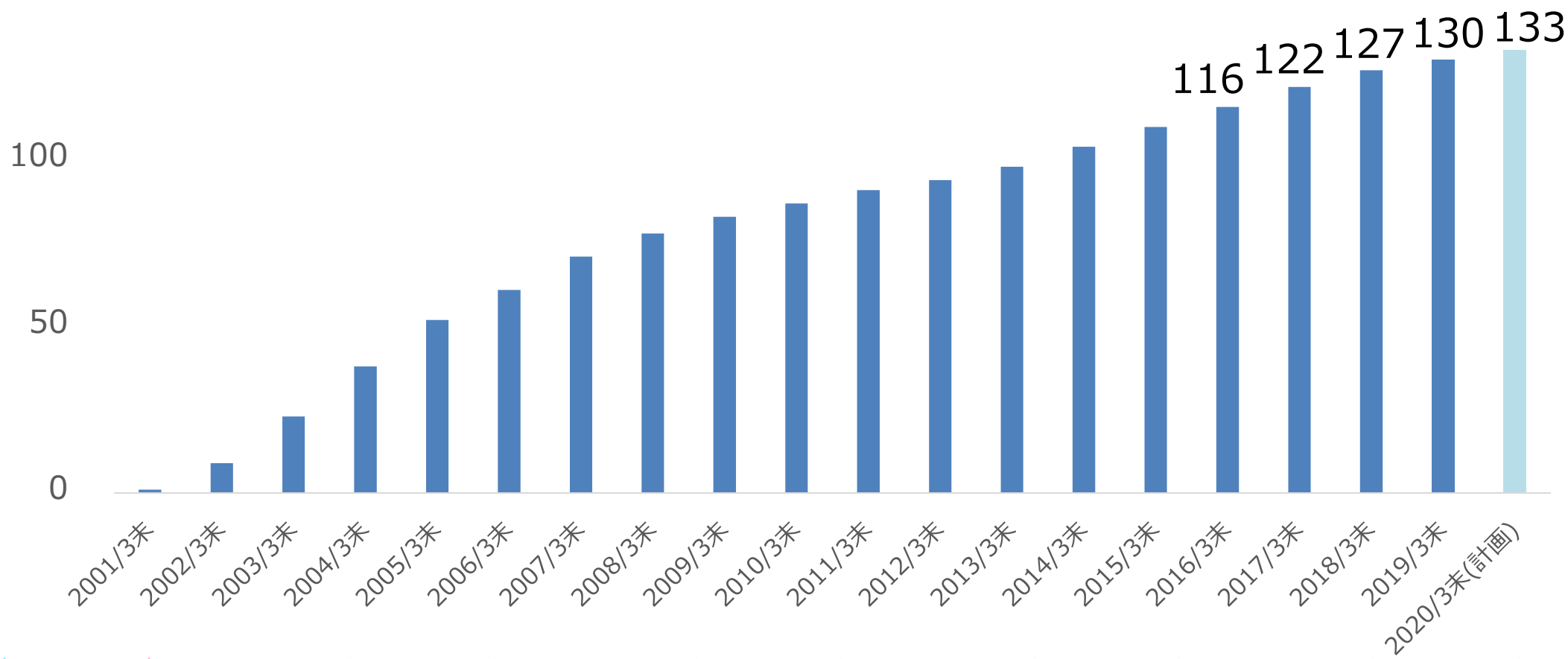
# (1)メルスプラン累積会員数推移

✓ 2020年3月末時点 会員数目標 **133万人**

**年平均成長率 3.5%**  
(2016年3月期～2020年3月期)

万人

メルスプラン累積会員数



# (1) コンタクトレンズラインアップ

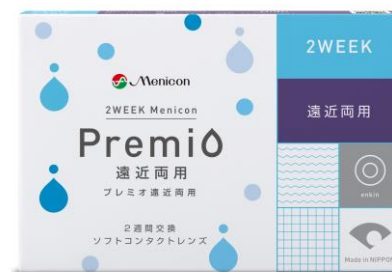
✓ 2WEEK 【シリコーンハイドロゲル】 “2 WEEKメニコン プレミオシリーズ”



近視・遠視用



乱視用



遠近両用



乱視用遠近両用

✓ 1DAY 【フラットパック】 “Magic”  
 【シリコーンハイドロゲル】 “1 DAYメニコン プレミオシリーズ”



近視用



近視用



乱視用



遠近両用



サークルレンズ

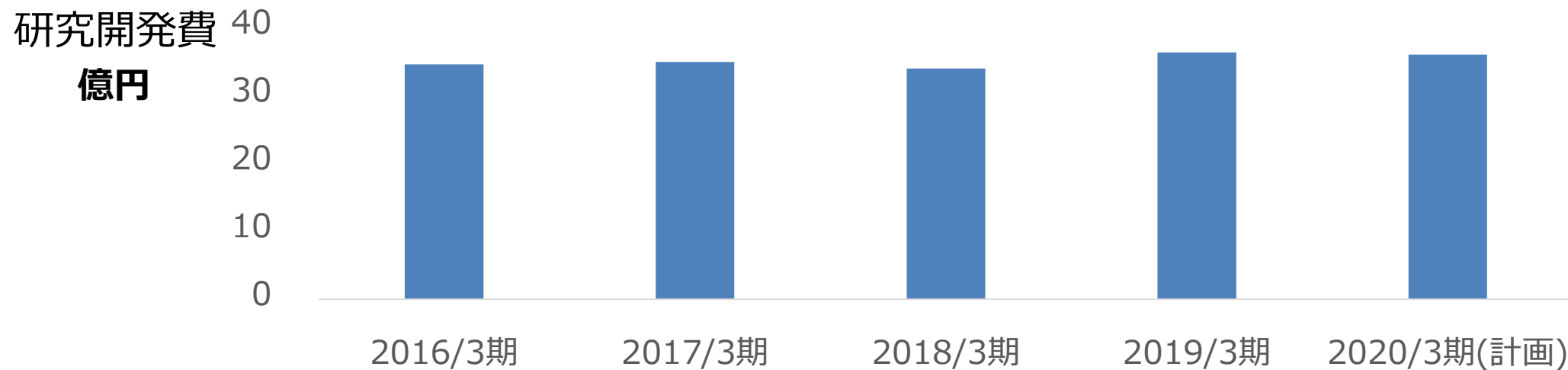
【2018年9月ラインアップ】

# (1) 製品研究開発

✓ 製品ラインアップ拡充のため、新製品順次開発中



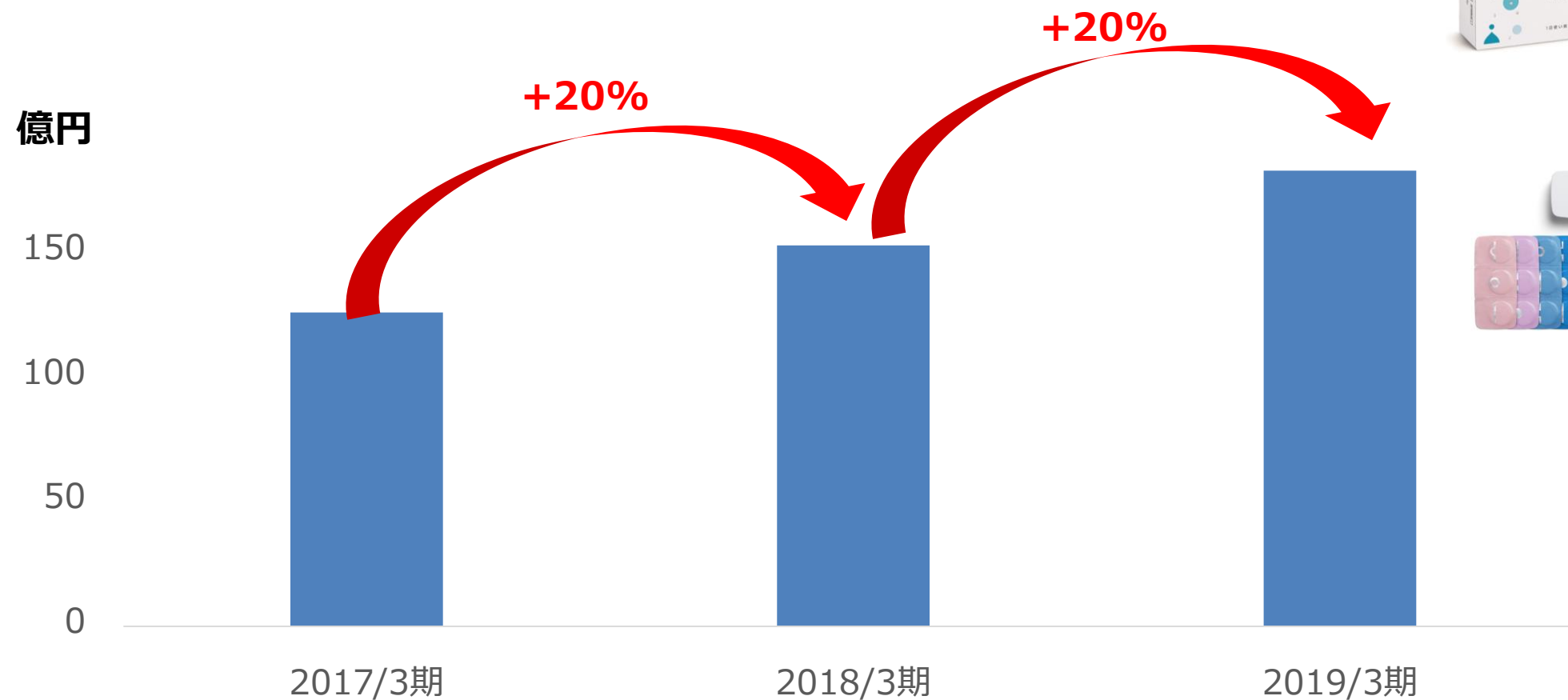
✓ 継続した研究開発への投資



# (1) 1 DAYコンタクトレンズ

✓ 1DAY全体売上高の連続成長

1DAY売上高（メルス+物販）

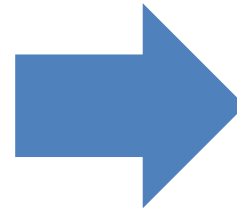


## (1) 1DAY工場の増床・増設

- ✓ 各務原工場を増床・生産ライン増設し生産能力拡大へ
  - ・ 1階建て→3階建て 増床工事開始：2020年春完成を計画
  - ・ 生産ライン増設：現在4ライン→最大15ラインまで設置可能



現在の各務原工場（1階建て）



2,3階増床後のイメージ

## (1) 1 DAYコンタクトレンズ

- ✓ 新キャラクター 浜辺美波さん出演のCM放映スタート





## (1)国内販売チャネル

- ✓ グループ販売店ブランドを「Miru」に統一



知識・経験の  
共有化

共同販促の  
シナジー

日本全国で  
ユーザーフォロー  
強化

- ✓ 「Miru」ブランドをより身近で、便利な、親しみのあるショップブランドへ

## (1)国内販売チャネル

✓ メルスプラン推進のシナジー効果へ

 <b>Menicon Miru</b>  <b>Miru<sup>+</sup></b>	49店舗
 <b>Ace Contact</b>	78店舗
 <b>Fuji Contact</b>	13店舗
 <b>City Contact</b>	18店舗
<b>グループ合計</b>	<b>158店舗</b>
メルスプラン加盟施設	1,535店舗
<b>メルスプラン店舗合計</b>	<b>1,693店舗</b>

<2019/3 末時点>

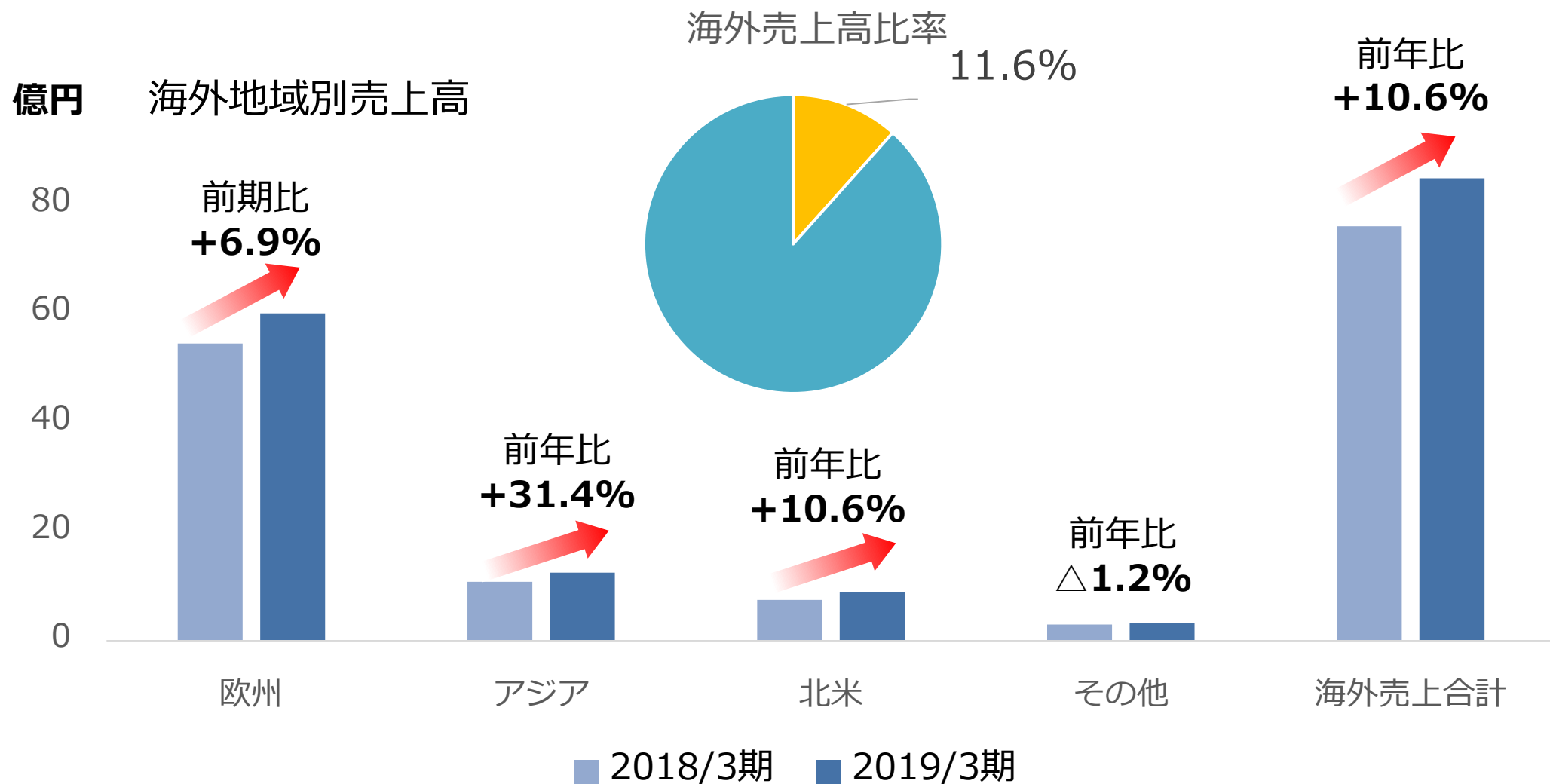
## (2)海外事業 グローバルネットワーク

✓ 主要地域に現地法人



## (2) 海外事業の拡大

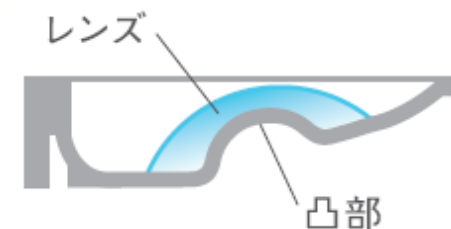
✓ 海外売上高比率拡大へ



## (2)海外販路の拡大

- ✓ 「1DAYメニコン プレミオ」の  
海外向けブランド『Miru 1day UpSide』発売

### SMART TOUCH



たったの3STEP!



- ✓ 欧州を中心とした世界的な量販店へのプライベートブランド商品提供

## (2)海外事業 欧州

- ✓ 欧州現地法人の強化・物流機能の強化

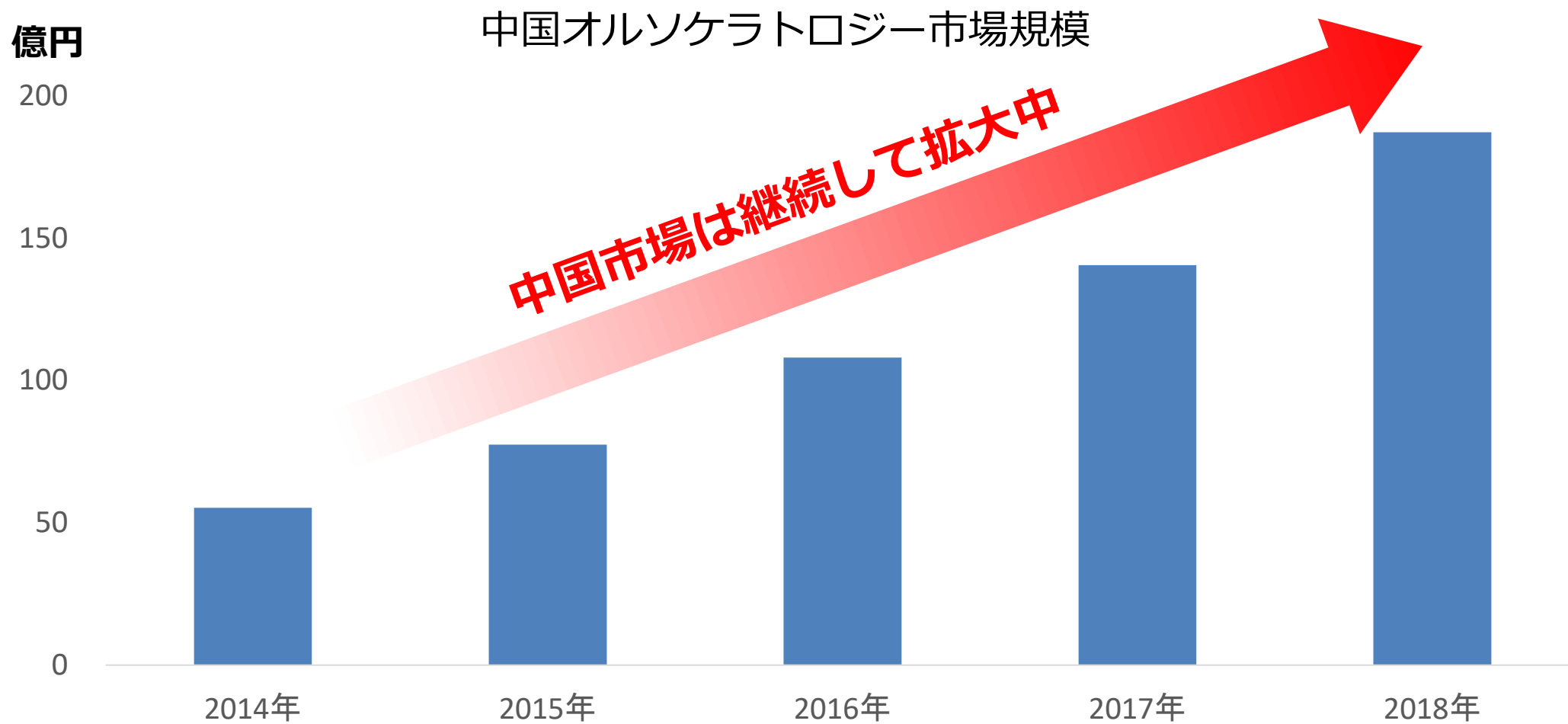


フランス 新事業所

- ✓ フランス:研修センターも併設した新事業所へ移転【2018年5月】
- ✓ ドイツ:欧州ロジスティクスセンター開設【2018年9月】

## (2)海外事業 中国

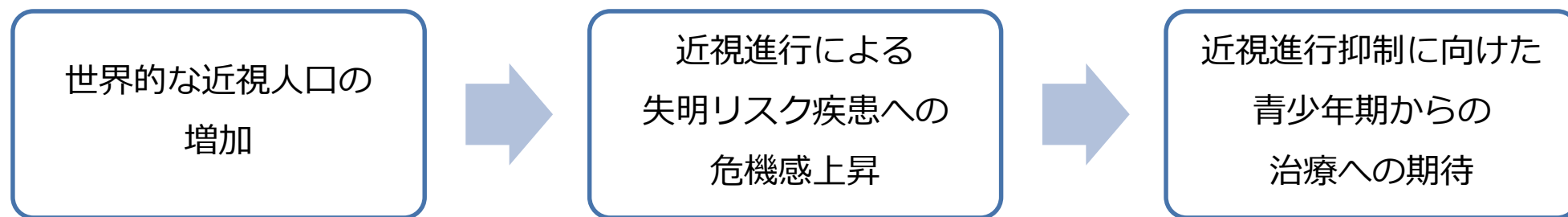
✓ オルソケラトロジーレンズ市場の成長



メニコン調べ

## (2) 近視進行抑制研究への取り組み

### ✓ 近視進行抑制研究について



メニコン：コンタクトレンズ（オルソケラトロジーレンズ）を活用した近視進行抑制研究に着手

### ✓ 中国でのオルソケラトロジーの拡大

- ・ 中国における5歳以上近視人口：4.5億人（2012年）

※北京大学中国健康研究発展センター「国民健康視力報告」より

- ・ オルソケラトロジーレンズによる近視進行抑制研究が注目されており、青少年への処方は今後も増加していく見込み



### (3)新規事業

- ✓ 歴史の中で培った技術やノウハウを他の分野に応用
- ✓ コンタクトレンズ事業から派生・関連分野で展開



動物医療



環境バイオ



ライフサイエンス



アイケア

億円

40

20

0

2016/3期

2017/3期

2018/3期

2019/3期

2021/3期(目標)

その他売上高

売上高倍増へ



# (3)新規事業 動物医療事業 メニワン

国産初のヒト用眼内レンズを開発



白内障に苦しむ犬たちのために事業化

サプリメント中心に海外へ輸出  
台湾・中国・韓国・マレーシアへ



白内障の犬



犬用眼内レンズ



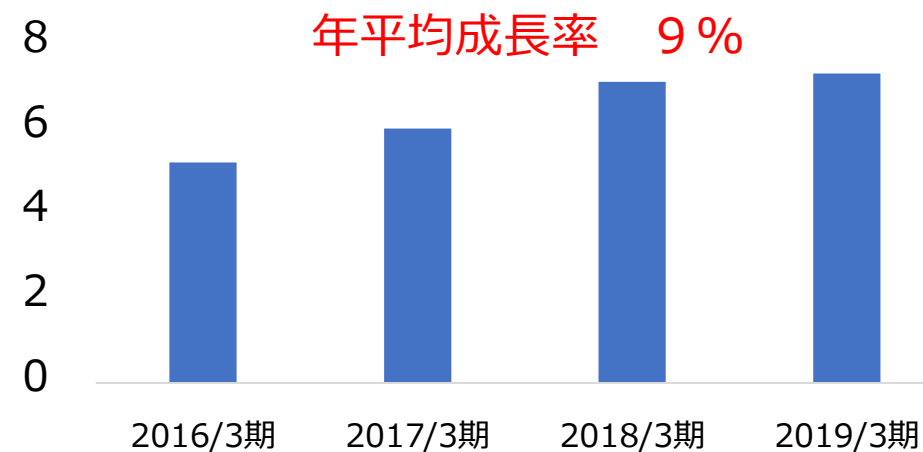
犬用サプリメント

猫用サプリメント

億円

## メニワン売上高

年平均成長率 9%



# 免責事項および将来見通しに関する注意事項

## 免責事項

この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社メニコン(以下、「当社」という。)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。  
当資料に記載された内容は、2019年5月14日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。  
投資を行う際は、必ず投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。  
それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。  
今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

お問合せ先

株式会社メニコン 財務 & I R 部

TEL : 052-935-1646

E-mail : [menicon-ir@menicon.co.jp](mailto:menicon-ir@menicon.co.jp)

<http://www.menicon.co.jp/company>